

拝啓 春陽の候、みなさまにおかれましては益々活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年は世界的な新型コロナウイルスの流行により、年初より例年と全く違った環境でのスタートとなりました。当院でもその対応に追われ、医療資源やマンパワーなど不安定な時期もありましたが、早急に隔離病棟を確立させることで心臓血管外科の重症緊急症例も断ることなく、むしろ遠方より依頼を受けるほどの状態でありながら安定した成績で乗り切ることができました。

【当院当科での対応】

心臓血管外科疾患は病態によっては待機によるリスクが高く、コロナ禍でも最も優先されるべき外科治療の一つとして位置付けられておりました。幸い当院は救命救急センターを有しておりましたため、そのフロアとユニットをコロナ対応病棟として使用することで、手術室とICUをいつも通り使用できる状態としました。これにより待機リスクのある患者様や緊急症例にも断ることなく最良の対応が出来たと考えております。

緊急症例につきましてはCTやPCRなどで陰性が確認できるまでは疑似症として慎重に管理することで院内感染も防ぐことができました。コロナ禍で来院者数が激減したことで疾患の発見数が少なくなったためか、全体の手術数としてはやや減少したものの、心臓大血管疾患200例以上と例年通り京都では一番の症例数を昨年も保つことができました。術前術後の管理や手術においても高度な知識と経験を持つスタッフの尽力により、出血再開胸は今年も一例もなく、手術時間も短時間で医療資源も無駄に使うことなく対応することができました。

手術成績につきまして詳細な検討をいたしましたので、「annual report」としてご報告させていただきます。お気づきの点がございましたら、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



心臓血管外科 部長  
小林豊

2020年 症例数

	症例数		症例数
1 冠動脈バイパス術	37	3 胸部大動脈瘤のみ	16
単独(オフポンプ)	22	4 急性大動脈解離	47
単独(オンポンプ)	1	5 その他開心術(心膜切除、左室形成、心臓腫瘍など)	17
+弁膜症		6 先天性心疾患	1
大動脈弁	5	7 ステントグラフト	121
僧帽弁	2	胸部ステントグラフト	70
三尖弁	0	腹部ステントグラフト	51
その他(二弁、大血管など)	7	8 AAA	12
2 弁膜症	31	9 末梢血管手術	23
大動脈弁	15	末梢動脈	21
僧帽弁	4	下肢静脈瘤	2
三尖弁	0	10 透析シャント	50
連合弁膜症	9	11 その他	9
Bentall	0		
+大血管	3		
		胸部心臓大血管 計	219
		総手術数	364

冠動脈バイパス手術

単独冠動脈バイパス術は緊急のショックによる術前ECMO導入症例一例を除いた全てをoff pump(人工心肺非使用)で対応させていただきました。心機能や血管性状が悪い症例も多く、人工心肺を使用したバイパスも必要に応じて選択しておりますが、術前IABP挿入など術式を工夫してoff pumpで施行可能でありました。また、術後早期グラフト開存も良好で、手術の質も最良を維持できました。また、昨年は特に、弁膜症や大血管との複合手術としての冠動脈バイパス術が増加しておりました。腎機能温存や長期成績を考慮してバイパス術を選択いただければ幸いです。

弁膜症手術

大動脈弁狭窄症および連合弁膜症が多く、ご高齢の患者様にも積極的かつ安全に弁膜症手術を施行いたしました。また僧帽弁手術の多くは自己弁を温存した形成術が可能でありました。患者様の希望に応じて小切開手術にも対応させていただきます。全国的には弁膜症に対する手術治療は死亡率4%と横ばいではありますが、当院での周術期死亡は術前心肺停止症例の緊急手術1例のみでありました。

胸部大動脈瘤手術

急性大動脈解離は昨年も積極的に受け入れさせていただきました。以前は保存的加療がメインでありましたtype B解離に対しても症例の積み重ねにより、さらに安全に長期成績改善を目的とした早期治療介入が可能でありました。また急性大動脈解離(type A)手術の院内死亡は4例(全て術前破裂によるショックからの手術)で8.5%(全国平均10~15%)と例年と比べてやや高めではありましたが、術前状態を考慮すると妥当なものであると考えております。当院ではハイリスク症例やショック状態からでも積極的に救命に取り組んでおり、昨年は特にコロナの影響もあり遠方からの紹介も多く重症度も高い年でありました。また、以前はステントグラフトが困難であると考えられていた慢性大動脈解離症例に対しても、開胸手術とのハイブリッド手術を行うことにより、低侵襲に治療可能となりました。

### その他心臓大血管手術

急性心筋梗塞合併症の手術はコンスタントに行っておりますが、近年は右室アプローチに切り替えてより成績が向上いたしました。また、昨年は肺梗塞に対する手術介入を認めませんでした。当科からの論文でも重症例ほど手術での救命率が高く、これまでの成績からも肺梗塞に対しては当科では積極的に手術適応としております。お気軽にご相談いただければ幸いです。

### 腹部大動脈瘤手術

開腹手術、ステントグラフトともに良好な成績で、待機的手術においては院内死亡を認めませんでした。腹部大動脈瘤破裂に対しても積極的にステントグラフトを導入することにより10例の破裂症例で院内死亡は術前心肺停止の1例(10%)のみでありました。一般的には30%を超える死亡率である疾患であり、良好な成績と考えております。昨年も緊急症例に対しては全例ステントグラフトを適応することにより高い救命率を維持することができました。

### 末梢血管手術

透析シャントや重症下肢虚血に対しても積極的に取り組みました。シャント作成や末梢血管を専門としている医師をチームに招聘することで、より専門的な治療を行っております。また、自院のみならず他院からのシャントトラブルにも積極的に緊急受け入れをさせていただきました。

### 手術外活動

#### Wet labo

現在心臓血管外科専門医取得において off the job training (臨床外教育)が義務化されており、学会認定専門医教育基幹施設である当科で行った wet labo に関しては正式な受講証明書を発行しております。しかしながら昨年は社会情勢により、規模や回数は最小限とさせていただきます。

#### 学術活動

年初に海外シンポジウムで発表した以降は会場で登壇することができず、学会やセミナーなどはオンラインを中心に行うこととなりましたが、それによりオンラインでの発表環境を整備することができたと前向きに捉えております。

#### 学会発表(研究会・講演会除く)

2020/1/31 LINC2020 ドイツ ライプツィヒ Web開催 Emergency intervention for retrograde acute type A aortic dissection with PRTTICOAT technique 小林豊	2020/8/18 第50回 日本心臓血管外科学会 学術総会 共催セミナー Web開催 The evaluation of PETTICOAT technique using IVUS in patients with Aortic Dissection 小林豊
2020/9/16 第129回 日本循環器学会 近畿地方会 誌上发表 術中冠動脈造影を併施した冠動脈瘤破裂の一手術例 森田英夫 小林豊 川上敦司 白木宏長	2020/10/5 第73回 日本胸部外科学会 定期学術集会 Web開催 開心術後の心房細動に対する塩酸ランジオロールの予防効果の検討 川上敦司 小林豊 白木宏長 森田英夫
2020/11/28 第48回 日本血管外科学会 学術総会 共催セミナー Web開催 The performance of Endurant II for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysms 小林豊	2020/11/28 第130回 日本循環器学会 近畿地方会 Web開催 巨大弓部大動脈瘤破裂に対して緊急 total debranching TEVAR を施行し救命し得た一例 白木宏長 小林豊 川上敦司 森田英夫

### 総括

特殊な環境下でありましたが、その中でも多くの症例の経験をいただくことで医療資源やマンパワーなどこれまでとは違った視点で自身、自院の医療を見直すきっかけとなりました。

ご紹介元の先生方の的確な判断とご紹介に感謝しております。

日々環境の変わる臨床に追われる中で、学術的には積極的に発表できたと思っておりますが、やはり論文という形で残すことができず、今年の一つの課題とさせていただきます。

今後もより重症な患者様に、より高いレベルの治療を提供できるよう、日々の診療に邁進していきたいと思っております。

また今年はずいに経皮的動脈弁置換術(TAVI)の認定施設を目指すべくハートチームで動いております。

心臓外科として施設認定後にTAVI外来を立ち上げる予定となっておりますので、その際には再度ご報告申し上げます。

今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

緊急手術に関しましても24時間365日対応しておりますため、お気軽にお声をおかけください。